

## 杉平堰堤と稻荷川筋堰堤

内務省東京土木出張所長 眞田 秀吉  
工 學 博 士

2



## 杉 平 堰 堤

本堰堤は河川改修のため、相模川流域中津川筋、神奈川縣都久井郡鳥屋村に設けられたものである。

本堰堤	高16米	長32米
第一副堰堤	高4米	長12米
第二副堰堤	高4米	長15米

堰堤水叩部が洗掘せらるゝのを虞り、主堰

堤の水通しを26米に取擴けて散流せしめ、又下手兩岸の岩器に龜裂が多いため、階段状の水叩を造り、尙水叩部には張石を施し、副堰堤下手には一帯に捨塊を施した。寫眞は前頁が全景を示し、(2)は堰堤下手の兩岸に設けた階段状の水叩を撮つたものである。



1

## 鬼怒川流域大谷川支川 稻荷川筋堰堤

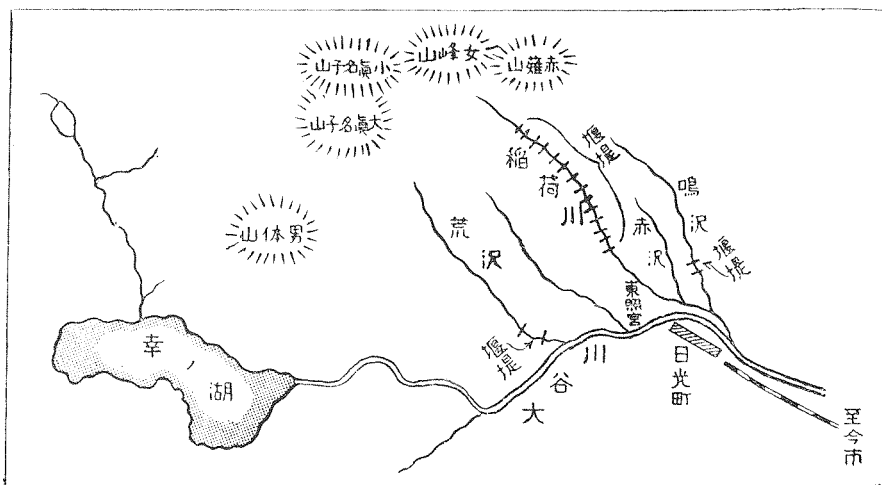
稻荷川は日光赤薙山及女峰山から發し、神橋の下流約 300 米の地點で大谷川に合流する急流河川であるが、山地に大崩壊多く、土砂の流出夥しきため、靈地を荒廢する虞れがあ

るので、大正六年度から工費金65萬餘圓で、稻荷川、荒澤及鳴澤筋に砂防工事を起工した。

寫眞 1 は稻荷川筋最上流に設けた日向堰堤の施工前荒廢せる河狀を撮つたものである。



2. 堰堤築造後上流より下流に向つて堆積土砂の状況を寫したもので、其貯砂量 7萬餘立方米に達してゐる。堰堤の高さは16米、長さ63米である。





3. 稻荷川筋白系瀧の上流 2 杆の地點から  
上流に築造された 5 個所の堰堤を撮影した  
ものである。